



## 審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

### 1 開会あいさつ

#### □司会者（政策企画室）

ただいまから、第2回和泉市外部評価委員会を開催させていただきます。

本日は、公私ご多用のところ、本委員会にご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

それでは、会議開会前に、お配りしております資料の確認をさせていただきます。

まずは、事前にお配りしておりますファイルのほか、机上配布資料として、

○前回の議事録

○次第

○資料1 事業評価の項目

○OKPIの積算について

資料の不足等はありませんでしょうか。

ここで、会議録の作成についてご説明させていただきます。

本会議の会議録作成のため、発言内容を録音させていただきますが、会議録作成後は、録音内容を消去いたします。録音のため、お手数ですが、ご発言の際は、マイクのご使用をお願いいたします。また、会議録について、発言者の氏名を公表して作成しますことをご了承願います。

では、本日は第2回目の会議でありますので、私の方で簡単に前回の内容の振り返りをさせていただいた後、本日の会議に入りたいと思います。前回は、2つの事業担当課から、交付金を活用して令和3年度に行った事業についての説明を行いました。

1つ目の事業は道の駅の整備で、荷捌所がなく十分な品ぞろえを確保できない施設を改修し、子育て世代の集客を図るための遊具・駐車場の整備を行いました。また、今まで施設全体を1つの指定管理者に管理させていたものを、物販に長けた事業者、施設管理に長けた事業者に分けて指定管理者を募集することで、持続的に経営できる運営体制の構築を図りました。

なお、本施設は4月29日にオープンし、5月15日までの17日間で、レジ客数が15,378人、売上金額は2,262万7千円、出荷点数は7万5千点となり、参考ですが、KPIの目標値に対する現時点での達成割合は、レジ客数が10%、売上金額が9.1%、出荷点数が8.7%となっております。

2つ目の事業は、古民家を活用した交流拠点施設の整備です。本事業の前身事業では、イベントによる集客を中心に実施しましたが、一過性のものになってしまう等の課題があったことから、アーティストが集える拠点の整備を行いました。また、Web交流サイトの整備も行い、アーティストと企業とのビジネスマッチングの場を構築しました。

なお、直近の運営状況ですが、先行してオープンしておりましたカフェ等につき、5月3日にアートギャラリーがオープンしました。5月15日までの利用状況は、施設の貸出回数が12回、貸し出した部屋を使ってイベント・教室等を開催した結果、利用者数は212人となっております。こちらも参考ですが、KPIの目標値に対する現時点での達成割合は、年間来場者数が32%、年間利用数が24%

となっております。

いずれの施設もオープン直後、順調な滑り出しとなっておりますが、KPI 達成に向け、定期的なイベント等を開催しながら、交流人口の増加、農林業の活性化等に尽力してまいります。

それでは、会議の進行につきましては、辻本委員長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

#### ■辻本委員長

引き続き、今回もよろしくお願いいたします。それでは、議題に入る前に、前回の議事録の確認をしたいと思います。事務局で作成した前回会議の議事録を本日配布させていただきました。委員の皆様、こちらの内容について、修正等はございませんでしょうか。

(委員から修正等の意見なし)

#### ■辻本委員長

では、これを成案といたします。

次に、前回の会議では、評価対象となっている2事業について、事業概要説明、そして、評価を行うための質疑応答を行ってまいりました。

また、KPI の変更に関する説明もありましたが、事務局から「質疑応答について、回答が不十分であったため、その部分について再度説明させていただきたい」という申し出がありました。そのため、本日はその説明の後に、本日の議題であります事業評価に移ってまいりたいと思います。

それでは、事務局から説明をお願いします。

#### □事務局（久保惣記念美術館）

前回の会議で、委員から「KPI の来場者数の積算根拠」についてご質問いただき、適切にお答えできていない部分がありましたので、本日、お時間をいただき、説明させていただきたいと思います。資料「KPI の積算について」をご覧ください。

前回、エコールいずみ駐車場に建設を予定していた「太鼓ミュージアム」の建設計画が中止になったことから、KPI を変更したい旨、ご説明させていただきました。その変更後の KPI を示したものが、資料1の表で、これらの積算値を、「2 各 KPI の積算」に示しております。

「①交流拠点への年間来場者数」について、令和4年度は、オープニングイベント90人、月1回のイベント360人、貸室利用が50%の稼働で200人、合計650人を見込んでおります。前回の会議では、カフェの利用者もカウントすると申し上げてしまいましたが、正しくは、イベントと貸室の利用者数の合計の人数を来場者数としております。また、営業日を100日としておりますのは、交付金の申請を行った令和元年時点では実際の営業予定日が決まっていなかったため、毎週土曜日と日曜日に営業を行い、年間約100日の営業を想定したものです。実際には、水曜日から日曜日までの週5日営業しておりますので、営業日は年間で約240日となる見込みです。

エコールいずみでのイベントについては、音楽ライブ 200 人、ギャラリー400 人、ワークショップ 40 人、あーとフェスタ 500 人の集客を見込んでおり、合計が 1,140 人、先ほどの古民家とあわせまして、1,790 人としております。

令和 5 年度についても同様のイベント等を想定し、古民家、イベント等の周知が進み、来場者数が増加することから、3,080 人の来場を見込んでおります。

「②交流拠点施設の年間利用数」については、古民家における貸室の利用回数をカウントする予定です。令和 4 年度においては、週 1 回の利用により年間約 50 回、令和 5 年度については、週 2 回の利用があるものとして計算しております。

最後に、「③和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムの売上額」については、コンソーシアムが開催するイベントへの参加料、各種グッズの売上、Web 交流拠点の活用による業務の受注等による売上をカウントいたします。

なお、古民家の運営については、コンソーシアムが古民家を直接運営するのではなく、運営者に対して補助金を交付し、古民家自体が主体的に事業展開を図っているため、この KPI の売上額の積算には含めておりません。説明は以上でございます。

#### ■辻本委員長

ただいま説明のあった内容について、ご質問等はありませんか。

(委員からの質問なし)

#### ■辻本委員長

では、質問もないようですので、本日の議題に移ります。

## 2 事業の評価

【道の駅いずみ山愛の里施設活性化事業】

#### ■辻本委員長

では、評価対象事業についての評価を実施してまいりたいと思います。

評価の実施方法については、本日配布している「資料 1 事業評価の項目」に記載されている評価項目に基づき、委員皆さんの評価をお聞きしたいと思います。点数評価については、全委員の点数の平均をとり、有効であったか、そうでなかったかの評価をし、また、その理由も本委員会の答申に盛り込んでまいります。「今後の取組に対するアドバイス」については、委員皆様のご意見を取りまとめ、答申に盛り込んでまいりたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、1 つ目の事業「道の駅いずみ山愛の里施設活性化事業」について、評価してまいりたいと思います。「令和 3 年度の取組に対する評価」について、委員皆さんの評価が、評価点 1 点から 4 点までのいずれに該当するのか、また、その理由についてご発言ください。では、中尾委員、お願いしま

す。

#### ■中尾委員

評価としては、「3点」といたしました。その理由としては、

「レジ客数」については、大型複合遊具や芝生が整備されたことで、自然と触れ合い子どもが参加できる環境づくりが期待できるため、子育て世帯など新たな客層の誘引につながり、KPI 達成が期待できると考えます。

「農産物等の売上金額」についても、このことから客数の増加が見込めることや、野菜販売等のノウハウがある指定管理者に変わったことにより、売上の増加につながると思います。

「出荷点数」については、出荷協力会を通じて地元農家と指定管理者が協議や意見交換を行っているものの、市内の農業者が年々減少していく中で KPI を達成するには、市としても農業者の育成や支援など、更なる努力が必要ではないかと考えます。

これらのことから、2つの KPI の達成が期待できると思います。

#### ■辻本委員長

ありがとうございました。それでは、大野委員、お願いします。

#### ■大野委員

評価としては「4点」といたしました。

理由としましては、まず1点目、整備前の施設に比べて格段に集客できる場所へと改修されているからです。二つの施設に分けて申し上げますと、物販施設については、従前も新鮮な野菜や果物は販売されていたものの、今回の新設で肉や魚などの豊富な食材を取り揃えることが可能となっているということと、飲食施設については、従前は物販施設の一部に申し訳程度にあったものの、改修後は「旬菜レストラン・つむぎ」として地元食材を使った料理やスイーツが楽しめる施設に大幅にグレードアップしていることが大きいと考えます。

その他の理由としては、近くにある道の駅、具体的には河内長野市の奥河内くろまろの郷、岸和田市の愛彩ランドに比べて依然として施設の大きさには劣勢な面があると思いますが、大型複合遊具があるのはいずみ山愛の里だけかと思しますので、その点については優位性があるものと考えています。

それと、年間を通じての集客イベントが開催されると聞いており、これらのことから、物販・飲食・遊具・イベントの4点が揃うことで、長時間滞在及びリピーターの確保が今までよりも可能になるものと思われるため、全ての KPI の達成が可能と評価いたします。

#### ■辻本委員長

ありがとうございました。それでは、山田委員、お願いします。

#### ■山田委員

評価としましては、私は「3点」といたしました。その理由については、事業の問題点の洗い出しをきちんとして、それに対する有効な打ち手を実施できていると感じているためです。

市内外からの集客を目標とし、広報いずみ・市ホームページだけに頼るのではなく、各種 SNS を立ち上げて積極的に活用しているとお見受けします。また、オープニングイベントなども実施し、初期段階の取組としては十分に評価できます。イベントの実施や SNS の活用など、継続的な展開を期待したいと思います。

#### ■辻本委員長

ありがとうございました。それでは、川口委員、お願いします。

#### ■川口委員

私は、評価は「3点」といたしました。理由としましては、土地を有効活用したことで、より快適な空間が生まれたことの意義は大きいと感じたからです。また、来訪者だけではなく、生産者の視点に立って、地元農家が出荷しやすい環境を作り上げることは、出荷点数の増加だけではなく、コミュニティ形成や農林業の活性化にも期待できると考えました。

また、指定管理者から提案があった項目のなかには、移動販売などの新たなサービスの導入を進めていくことで差別化が図れると考え、来訪者の増加を期待できると思います。

しかし、交流人口を増やすだけでなく、そこからどのように購買意欲に繋げていくのかが明確ではないと感じたため、農産物の売上金額の目標達成は困難ではないかと感じ、評価点は「3点」とさせていただきます。

#### ■辻本委員長

ありがとうございました。私の評価ですが、評価点は「4点」といたしました。それぞれの KPI に鑑みて考えると、まず、取組①の増築等工事により、農産物直売所の新設により売場面積が増加するというので、これがレジ客数、農産物売上に寄与すると思います。

次に、荷捌室や保冷庫の新設により品揃えの充実が期待でき、これが農産物売上で出荷点数に寄与するのではないかと考えます。

そして、子供向け大型遊具の設置により家族連れの来場増加が期待できますので、レジ客数に寄与すると思います。

そして、取組②の運営体制の見直しにより、顧客のニーズに対応した売場づくりや飲食メニューの展開が期待できることから、レジ客数、農産物売上に寄与すると予測されるため、これらにより、すべての KPI の達成が期待できるのではないかと考えます。

では次に、市が進めていくにあたっての意見・アドバイス等について伺っていききたいと思います。それでは、中尾委員、お願いします。

#### ■中尾委員

まず、道の駅をより活性化させるには、より多くの人に認知いただく必要があると思います。そのためには、自治会、子ども会、老人会、学校などに出向き、積極的に周知していただきたい。また、直売所や複合遊具など、施設のハードは整っているので、施設の良さを認知いただければ、口コミも含め他市に広まっていき、活性化につながっていくと思いますので、よろしくお願いします。

#### ■辻本委員長

ありがとうございました。それでは、大野委員、お願いします。

#### ■大野委員

実は、本日、運営者の社長とお話する機会があり、マスコミが本日取材に来ていると聞いています。生まれ変わった「いずみ山愛の里」を知ってもらうことが重要なので、積極的に SNS やホームページ等メディアを活用して周知活動を実施して欲しいと思います。

そして、近くの道の駅 2 か所に比べて規模的に劣勢な面があることから、他の道の駅にない特色のある品物や料理の販売に注力して欲しいと考えます。

また、これからいろいろなイベントを開催されるということですが、実施したイベントの集客状況を評価して、続けて実施すべきイベントなのか、見直すべきイベントなのかを判断して今後の集客に活かして欲しいというところと、最後に、定期的に大型複合遊具のメンテナンスを実施して、安全な施設として長く親しまれる場所となるようにして欲しいと思います。

#### ■辻本委員長

ありがとうございました。それでは、山田委員、お願いします。

#### ■山田委員

集客イベントを実施されるということですが、単に実施するだけではなく、必ず PDCA サイクルを回し続けて、参加者の満足度を高めるよう精度を高めていってほしいと思います。どのくらいの集客に寄与したのかという点を数値化し、しっかりと状況を把握していただきたいと思います。

SNS においても、フォロワーや投稿回数などに KPI を設けて、目標を達成するための策を講じてほしいと思います。成り行きで SNS を運営していても集客に寄与しないと思われるため、計画的に投稿を行ったうえで、どのようなフォロワーをどのくらい増やしていきたいかといった目標を数値化し、検証していくことが必要と考えます。

#### ■辻本委員長

ありがとうございました。それでは、川口委員、お願いします。

#### ■川口委員

何よりもプロモーションの重要性を感じました。和泉市の公式 LINE からオープニングイベントの詳細が送られてきたように、SNS や広報などターゲット層に合った情報発信を今後も積極的に取り組む必要があると思います。

また、私が実際に訪問をしたところ、農産物の品揃えに関して、まだ他と比べて少ないように感じました。そのため、運営体制の強化をいち早く進めていくべきだと考えます。また、市内の農林業に活力があると感じる市民の割合は 2 割以下と低く、また認定農業者数も比較的低いため、農林業に関しては 6 次産業化の促進で環境整備や担い手の育成などを行い、農林業の活性化にも努めていくと良いと感じました。

### ■辻本委員長

ありがとうございました。それでは、私の意見とアドバイスです。皆様のご意見のとおり、道の駅の激戦地域に立地する「山愛の里」のリニューアルに関する住民への認知を高めるための広報戦略を市が主導して行う必要があると思います。また、継続的に売上を増加させるためには、リピーターを増加させる必要があり、定期的なイベントの実施、季節に対応した品ぞろえや飲食メニューの新たな開発を行うなど、運営会社に任せきりにせず、常にプロモーションに対して担当者が要望を出し、チェックしていくことが重要であると考えます。広報のためという名目で、イベントや売出しなどの広報ネタを要求していく形でチェックを行うことを実務的にはお薦めしたいと思います。

では、本事業について、委員皆様の評価やご意見が全て出そろいましたので、本委員会としての評価についてまとめてまいりたいと思います。

取組に対する評価としては、評価点「4点」を選んだ委員が2名、評価点「3点」を選んだ委員が3名であったことから、平均点は3.4点となりました。

資料1の「評価の方法」によれば、2.5点以上であれば、事業として有効であったという評価になりますので、「有効であった」を本事業の評価といたします。

その理由を整理いたしますと、施設整備により、新鮮な肉や魚など豊富な食材を取りそろえることができ、また地元食材を使った料理やスイーツが楽しめる施設にグレードアップしたこと、地元農家が出荷しやすい環境を作り上げることににより、コミュニティ形成や農林業の活性化が期待できること、市内外からの集客を目標とし、広報・市ホームページだけに頼るのではなく、各種 SNS を立ち上げて積極的に活用していること、近くの道の駅にはない大型遊具が設置されたことや、移動販売などの新たなサービスの導入により、他施設との差別化が図れるため、来訪者の増加が期待できることなどが、ご意見だったと思います。

次に、今後の取組に対するアドバイスとしては、近くの道の駅2か所に比べて規模的に劣勢な面があることから、他の道の駅にない特色のある品物や料理の販売に注力すること、自治会、子供会などターゲット層に応じ、SNS、広報等を用いて効果的に情報発信を行い、積極的に施設の周知を行っていくこと、集客イベントは単に実施するだけでなく、集客状況を評価し、PDCA サイクルを回し続け



て、参加者の満足度を高められるように精度を高めていくこと、継続して来訪してもらえよう、今回ターゲットにしている子育て世代などに対し定期的にアンケート調査を行い、意見を取り入れていくこと、リピーターを増加させるためのイベント開催、季節に対応したメニュー開発等を指定管理者に任せきりにすることなく、市が積極的に関与していくことなどが、ご意見だったと思います。

先ほど申し上げたほか、本委員会の答申に盛り込むべきとお考えのご意見はございませんか。

(委員からその他の意見なし)

#### ■辻本委員長

それでは、次の事業の評価に移ります。

#### 【交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業】

#### ■辻本委員長

それでは、交流拠点施設を活用したまちの賑わい創出・交流人口拡大事業について評価してまいりたいと思います。では、令和3年度の取組に対する委員皆様の評価が1点から4点のいずれに該当するのか、またその理由についてご発言をお願いしたいと思います。それでは、中尾委員、お願いします。

#### ■中尾委員

まず、評価は「3点」といたしました。評価の理由については、「年間来場者数」と「年間利用数」については、今回改修した古民家ではギャラリーやワークショップを予定されており、当初予定していた事業の一部は中止になったものの、エコールいずみ内の空き室や広場を活用して音楽会や市民参加型のイベントを実施するなど、和泉市の文化発信拠点として、多目的な文化実現が可能と認識いたしました。そういう観点から、3点といたしました。

#### ■辻本委員長

ありがとうございます。では、大野委員、お願いします。

#### ■大野委員

評価の方ですが、私も「3点」といたしました。理由については、個人的に4回訪れたことのある久保惣記念美術館は、以前から非常に有益な施設であると思っていました。ただ、徒歩圏内に相乗効果が見込める施設が無いことが残念だと思っていたので、久保惣記念美術館から500m離れた場所に古民家の運用が開始されることは非常に有効だと感じております。

また、エコールいずみ内のイベント広場や空き店舗スペースを活用しての各種イベント開催、これは面白い試みだと思いますが、どのようなイベントが開催されるのか、継続的に実施できるのかとい

った問題点があると思います。

和泉中央駅前にてレンタルサイクルを取り扱っている施設はあるものの、交流拠点施設間の移動手段として他の方法があるのか、疑問に感じます。ただ、非常に面白い取組であることから、「3点」といたしました。

#### ■辻本委員長

ありがとうございます。では、山田委員、お願いします。

#### ■山田委員

私の評価としては「3点」といたしました。古民家の有効な活用ができており、各種イベントなどを開催できる環境を構築できていると感じております。継続的なイベントの開催、およびその振り返りを期待したいと思います。コンソーシアムのホームページを構築したことも評価できますが、これを具体的にどのように活用し、収益化をしていくかが不透明なので、机上の空論にならないよう、実現性の高いラインでの検討を期待します。

#### ■辻本委員長

ありがとうございます。では、川口委員、お願いします。

#### ■川口委員

私は、「3点」の評価といたしました。理由としましては、古民家や空き家などの問題が浮き彫りになっている今、このように有効な土地利用を行うことは、景観の維持や不適切な状態の空き家の管理など、都市環境の整備の重要項目であると感じたからです。

また、古民家の利用者数のカウントにカフェが入らないという点を踏まえて、来場者数の目標値の達成が高いように感じたため、達成が困難なのではないかと判断しました。

プロモーションを行う点で、紙媒体ではなくインターネットを利用した取組である WEB 交流拠点の導入を積極的に行うことで、より多くの人を巻き込んだ交流人口の増加と売上に期待できると思います。

#### ■辻本委員長

ありがとうございます。私の評価としましては、評価点を「3点」といたしました。KPI が3つありますが、売上金額については、令和4年はゼロとなっていますので、なかなか4点というのは評価しづらいと感じます。ただし、取組①の古民家を活用した交流拠点施設の設置により、イベントが開催可能になることから、年間利用数 50 回、来場者数 650 人は達成可能であると考えます。また、取組②の音楽を活用したイベント実施について、各種イベントを実施すれば 1,140 名の来場者を獲得することも可能であると考えて、この評価といたしました。

それでは、この事業を市が進めていくにあたっての意見・アドバイス等について伺っていききたいと

思います。それでは、中尾委員、お願いいたします。

#### ■中尾委員

多岐にわたる人に参加いただき、他市からも来ていただける取組を継続するためには、芸術、文化、音楽などたくさんのイベントを開催する必要があるので、事業者にはいろいろな企画をお願いしたいと思います。また、事業者が自立・自走できるよう、市も事業者が軌道に乗るまでは助言等を引き続きお願いします。

#### ■辻本委員長

ありがとうございます。それでは、大野委員、お願いいたします。

#### ■大野委員

せっかくの久保惣記念美術館ですので、囲い込みを図るためにも、交流拠点施設共有割引券の発行をしていけばよいのではないかと考えます。その交流拠点施設間の移動をスムーズにする方法はないかというのでも考えてほしいと思います。また、交流拠点施設を知ってもらうことがやはり重要なので、積極的に SNS やホームページ等メディアの活用をお願いしたいと思います。

#### ■辻本委員長

ありがとうございます。それでは、山田委員、よろしくお願いいたします。

#### ■山田委員

古民家を整備されたということで、場所は整えられたが、これだけではこれまで同様、一過性のもことになる可能性があると思います。いかに継続的な交流人口の増加を図るために、その場所を活用してどのような取組を実施し、それがどのくらいの人流の効果を生むのか、検証を重ねてほしいと思います。

また、WEB 交流サイトの具体的な活用プランの検討と、具体的にどう活用するのか、具体的なプランを検証する体制が必要だと考えます。SEO 対策、効率的な情報発信やビジネスマッチングはどのように行っていくのか、特に SEO については、この交流サイトを検索してみたが、全くヒットしなかったため、対策をしていく必要があると感じました。

#### ■辻本委員長

ありがとうございます。それでは、川口委員、お願いいたします。

#### ■川口委員

先ほど山田委員も仰っていたように、古民家でのイベントについて、年に 12 回開催されるということですが、毎回色の違うイベントを行うことで、一時的な集客にとどまらないよう、イベント内容

は念入りに調整するべきだと感じました。

#### ■辻本委員長

ありがとうございます。私の意見といたしましては、先ほど川口委員も仰ったように、イベント拠点を活用するためには、多彩なイベントを実施していく必要があります。利用者が固定化してしまうと、新たな利用者の増加が見込めなくなってしまうので、バランスをとっていく舵取りが必要と思います。

また、新たな交流スペースができたことを広く周知し、イベントに利用できることを理解してもらうことが必要だと思います。また、近隣の大学などと共同でイベントを開催することも試みられて、近隣の住民の協力を得ていくことも必要と思います。

音楽を活用したイベントは、KPI を達成するために、年間での開催計画を早急に策定し、着実に集客を図っていく必要があり、また、次年度の評価に備えて、集客の人数の測定方法も決めておくとういと考えます。

以上をまとめますと、取組に対する評価としては、委員全員が評価点「3点」を選択していることから、平均点も3点となり、本委員会での評価は「有効であった」という評価になります。

その理由を整理いたしますと、文化的価値の高い久保惣記念美術館の徒歩圏内に集客の相乗効果が見込まれる施設（古民家）ができたことは、交流人口の増加において非常に有効であるということ、遊休資産を効果的に活用しており、交流人口の増加という目的にとどまらず、空き家問題への対応、景観の維持などの都市環境の整備にも有効であること、新たに文化の発信拠点ができたことで、久保惣ミュージアムタウンにおける美術とまちの調和が進み、今後の公民連携のまちづくりの促進が期待できること、古民家、交流拠点施設で各種イベントを開催することで、年間来場者数、年間施設利用数の2つのKPI を達成できる見込みがあること、などがご意見だったと思います。

次に今後の取組に対するアドバイスとしては、3年後、市からの交付金が終わったあともコンソーシアムが自立・自走できるよう市から助言等を引き続きお願いしたいこと、来訪者の囲い込みを図るためにも、交流拠点施設共有の割引制度を検討されたいこと、Web 交流サイトを通じたビジネスマッチング方法がまだ不透明であるので、効果的な活用プランを練り、SEO 対策を施すなど、効果的な周知方法を検討されたいこと、施設の改修や Web サイトの構築だけでは、前回と同じく一過性のものになりかねないため、今後のイベントそれぞれが、どのくらいの人流効果を生み出すのか検証されたいこと、オープン直後の一時的な集客に留まらないよう、早急に計画策定した上で多彩なイベントを開催し、幅広い客層に対し魅力をアピールしていく必要があること、などがご意見だったと思います。

先ほど申し上げたほか、本委員会の答申に盛り込むべきとお考えのご意見はございませんか。

(委員からその他の意見なし)

## ■辻本委員長

それでは、以上をもちまして、市長から諮問されました事業評価を終了させていただきたいと思えます。

なお、本日のご意見を取りまとめて、答申（案）を作成してまいります。その作成については、委員長の私に一任していただき、後日、メール等で内容をご確認していただいたうえで、最終的に市長に答申してまいりたいと考えておりますが、よろしいでしょうか？

（「異議なし」の声あり）

それでは、本委員会における事業評価は、これにて終了します。令和3年度は、道の駅、古民家といった施設の整備事業に対し、それらの事業が今後のKPIの達成に期待できるかどうか、という観点から幅広いご意見をいただくことができました。

地方創生に向けては、交付金事業に限らず、今後も継続的に地域特性を活かした取組を進めることが必要ですので、評価対象になっていない事業や施策の見直し、新規事業の立ち上げを検討する際は、本日の委員会の評価を十分に参考にいただき、和泉市の活性化に向けて、効果的な事業実施につなげていただくことを期待いたします。

結びになりますが、委員の皆さまにおかれましては、会議の進行にご協力賜り、まことにありがとうございました。それでは、この後の進行については、事務局の方でお願いします。

## □司会者（政策企画室）

辻本委員長、ありがとうございました。また、委員の皆さまにおかれましては、本日は、長時間にわたり事業の評価を行っていただきまして、ありがとうございました。

今後のスケジュールですが、6月上旬を目途に委員長と答申案をまとめさせていただきたいと考えております。その後、委員の皆様にもメール等で確認いただき、ご意見を集約し、6月下旬には答申書を完成させたいと思えます。そして、7月中旬に委員長に出席いただき、直接市長に答申書をお渡しいただく予定です。日程等の詳細が決定次第メールでご報告いたします。

併せまして、本日の会議録につきましては、メール等で送付し、確認いただき、修正等なければ確定したいと存じますので、お忙しいところ恐縮でございますが、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。それでは、閉会にあたり、市長公室長の山崎から、ひとことご挨拶申し上げます。

## □市長公室長

（市長公室長挨拶）

## □司会者（政策企画室）

ありがとうございました。それでは、これもちまして、和泉市外部評価委員会を閉会いたします。  
委員の皆様、長時間にわたり誠にありがとうございました。